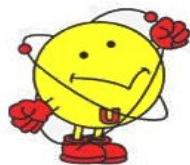


# にんぎょうとうげ



発行： 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
バックエンド研究開発部門  
人形峠環境技術センター 総務課  
岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地  
電話 0868-44-2211 FAX 0868-44-2502  
HPアドレス <http://www.jaea.go.jp/04/zningyo/index.html>

## 平成27年度 品質保証月間講演会実施

今年も11月1日から30日までの1ヶ月間、全国的に品質意識の高揚などを目的とした「品質保証月間(全国的には「品質月間」)」が展開され、センターとしても品質保証活動の向上を目指した計画を作成して実施しました。

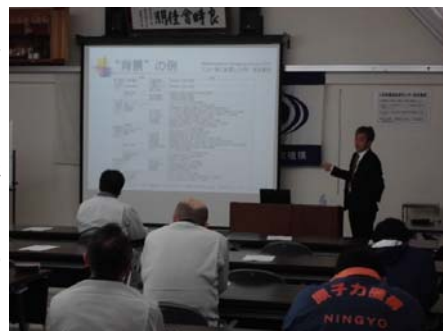
全国的に講演会をされている外部講師の中から(一財)電力中央研究所 原子力技術研究所 佐相ヒューマンファクター研究センター長を講師に招き、「発想の転換：人間が安全を担保する！ーヒューマンエラーへの前向きな取り組みー」をタイトルに講演頂きました。

人間はエラーする生き物である。されど人間は僅かな異音等で機器の不具合を発見でき、間一髪の危機を回避できるなど、想定外に対応できるのは人間だけである。

作業経験による危険感受性と事件事例分析(他者を含む。)を使った「気づき力」を向上させ、安全を担保する人間を育てることが必要と紹介して頂きました。

現行のリスクアセスメントによる作業経験や安全情報等による水平展開の実施等を通じて従業員の「気づき力」の向上と品質保証活動の向上を目指していきたいと考えています。

(安全管理課)



外部講師による講演の様子

## 『青少年のための科学の祭典2015 倉敷大会』に参加

11月14、15日にライフパーク倉敷・倉敷科学センターにおいて『青少年のための科学の祭典2015倉敷大会』が開催されました。2日間で約9,750の方が訪れ、それぞれのブースが賑わっていました。

センターからは常設出展『身近な放射線を測ろう』と実験教室の『夜も光るバッジを作ろう』を出展しました。

身近にあるものをサーベイメータで計測して放射線について説明をしたり、実験では、光を浴びてい



バッジ作成中



今後ともこのような機会を利用して多くの方に科学について興味をもっ

ていただければと思います。(総務課)



色々なものを測ってみよう

# 課室紹介

## ～計画管理室～

計画管理室は、中島室長を筆頭に8名(他、兼務者7名)で業務を行っています。

数年前よりメンバーが入れ替わり、7名が2年以下と、フレッシュな顔ぶれとなっています。若手の育成を図りながら、センターの事業推進や運営管理、産学連携など、センターに係る多岐にわたる業務を担当しています。



計画管理室の皆さん

主な業務を紹介します。

- ・年度事業計画・予算計画の立案、管理
- ・要員計画の立案
- ・環境報告書等に係る環境データのとりまとめ
- ・独法評価・バックエンド部門の評価対応
- ・有用資源の利用計画に関すること
- ・シンポジウム開催等、産学官との連携協力
- ・地域振興対応
- ・国会対応
- ・外部向け説明資料等の作成

以上のような業務を兼務者の皆さんの強力なサポートを得ながら、時には担当業務の枠を超えて、室員一丸となって業務を進めています。

計画管理室は、センターを縁の下から支えるとともに、従業員をはじめ、地域の皆さんの理解を得ながら、事業を推進できるよう業務に邁進しています。

センターの皆さんには、多忙な中、いつも無理なお願いをしていますが、センターをよりよくしていくためにご理解を頂くとともに、今後ともご協力をお願い致します。



エネルギー環境シンポジウム



産学連携事業(津山メタル交流会での講演)

## 平成27年度岡山県原子力防災訓練実施

11月6日、平成27年度岡山県原子力防災訓練が実施されました。

今回の訓練は、ウラン濃縮原型プラントのウラン貯蔵庫内で溶接作業中に火災が発生、ウランを詰めた容器のバルブが破損し、大量のウランが漏えいするとともに、身体汚染や内部ひばくのおそれがある負傷者が発生するとの想定で訓練が行われました。

当センターから10名が参加し、上斎原オフサイトセンターへの参集、各機能班の活動訓練を行い、岡山

県、国、関係機関(消防、警察等)、原子力機構が連携し、原子力災害特別措置法事象への対応手順などを確認しました。

今後も、訓練をとおして原子力災害時の対応能力の向上に努めてまいります。(安全管理課)



現地事故対策連絡会議